

# こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより No.33  
平成27年 [2015] 5月1日発行

## はじめての登校

(長田小学校)

- 定例会報告.....P2
- 市政を問う (一般質問).....P10
- 追跡 あの質問、どうなったの?.....P17
- (特集) 藪本畑下農園～藤桃庵～.....P18

# 平成27年度一般会計予算（前年度320億8,000万円）

前年比  
3.5%減

# 総額309億5,000万円

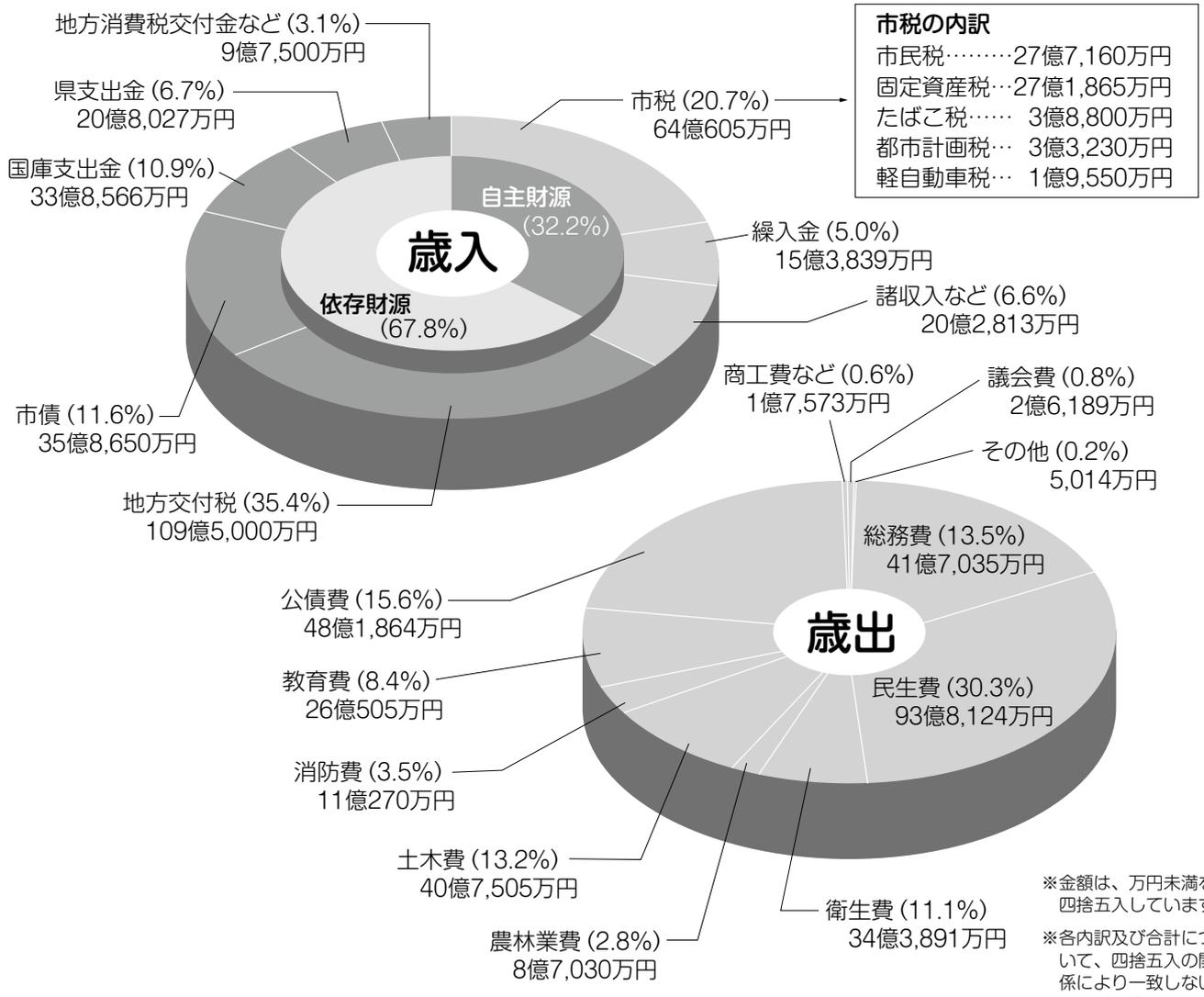
## 平成27年 第1回定例会

平成27年第1回定例会は、2月20日から3月23日までの32日間の会期で開かれました。

本定例会には、議員提出議案の財産の取得に対する附帯決議を含む、71件の議案が提出されました。

一般会計予算については、予算審査特別委員会を設置し、審査の付託を行い、3月3・4・5日の3日間、慎重に審査を行い、3月23日の本会議において賛成多数で可決されました。また、その他の議案については、すべて原案のとおり可決・同意となりました。

また、一般質問では11名の議員が登壇し、当面の行政課題をたどしました。



# 収入500万円の家庭に置き換えてみると

※金額は、端数調整しています。



○普通建設事業費

学校、道路などの建設費



○物件費

消耗品、光熱水費などの消費的経費の総称



○扶助費

児童手当の支給など各種支援のためのお金



○補助費等

補助金、負担金、交付金などのお金

○公債費

市債の元金および利子の支払いにかかるお金

○繰出金

他の会計に支出するお金

平成27年4月1日現在の人口6万5,759人 (26,196世帯)

# この事業に注目

## 合併10周年を迎えて

■合併10周年記念式典等開催事業  
(900万円)

- ・記念イベントとして、8月9日(日)市民体育館でNHKのど自慢が行われます。
- ・合併記念日11月7日(土)ホール田園で式典ならびに記念講演の予定。

■市歌制定事業  
(55万円)

- ・今年度で詞を募集し、記念式典で発表し、次年度に曲をつけていく予定。



新市民体育館

## フルーツ大使の任命

■観光振興事業 (238万7千円)

- ・女優藤原紀香さんをフルーツ大使に！



藤原紀香さん

## 子育てしやすいまちに

■放課後児童健全育成施設整備事業  
(9千943万5千円)

- ・西貢志こどもクラブ施設の新築と、粉河アットホームクラブの移転にともなう旧粉河中学校特別教室棟改修を行う。



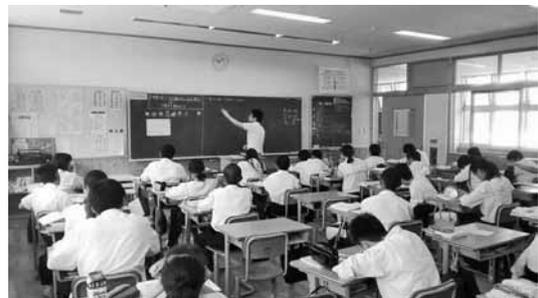
学童保育で遊ぶ子どもたち

# より良い教育施設を提供

## ■小学校空調設備整備事業

(746万2千円)

- ・平成27年度から29年度の3年間にかけて、管内16校の小学校に空調設備を設置する。
- ・本年度は、池田、田中、長田、粉河、西貴志、中貴志、東貴志の7校に設置する。



小学校エアコン設置

## ■粉河・那賀給食センター統合事業

(321万8千円)

- ・より安全な給食の提供および給食の質の向上をめざす。

## ■スポーツフェスティバル事業

(71万6千円)

- ・多世代が多志向、多種目のスポーツを親しむ事ができる機会を提供する。



自分に合ったスポーツ探し！

# 国体開催に向けて

## ■国民体育大会事業

(2億8千568万5千円)

- ・全国から訪れる競技関係者が十分力を発揮できるよう、会場の設営等を含め、大会を円滑に行う。
- ▼開会式 9月26日(土)
- 紀三井寺公園陸上競技場
- ▼サッカー 9月27日(日) ～ 9月30日(水)
- 桃源郷運動公園陸上競技場
- ▼ハンドボール 9月28日(月)、9月29日(火)
- 新市民体育館
- ▼ソフトボール 10月3日(土) ～ 10月5日(月)
- 粉河運動場・貴志川スポーツ公園



ドカンとホームラン!!

# お年寄りも安心

## ■ 老人福祉施設入所事業

(1億6千665万5千円)

・ 居宅において、生活が困難な高齢者に養護老人ホーム等へ入所してもらい、毎日安心して生活が送れるよう支援する。

## ■ 高齢者見守り事業

(77万6千円)

・ 高齢者の孤独感を解消、および安心感の提供、ならびに孤独死の防止をはかる。

# 豊かな地域づくりへ

## ■ 過疎集落再生・活性化支援事業

(464万円)

・ 集落と農地の再生のために、雇用と交流人口を創出する。

## ■ 旧分庁舎解体整備事業

(339万円)

・ 旧粉河分庁舎の解体工事の設計委託料。  
・ 今後の敷地全体の有効活用をはかる。

## ■ 粉河支所移転改修事業

(2千757万4千円)

・ 老朽化が著しいため、公共性の高い粉河ふるさとセンター内へ移転する。



ココが粉河支所に

## 主な特別会計の予算

※増減率の△はマイナスです。

特別会計	平成27年度	平成26年度	増減率(%)
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,500万円	2,500万円	0.0
土地取得事業特別会計	80万円	80万円	0.0
国民健康保険事業勘定特別会計	94億3,100万円	81億6,600万円	15.5
国民健康保険直営診療施設勘定特別会計	7,600万円	8,450万円	△ 10.1
後期高齢者医療特別会計	14億2,800万円	14億3,900万円	△ 0.8
介護保険事業勘定特別会計	65億2,900万円	61億6,600万円	5.9
公共下水道事業特別会計	12億9,100万円	14億7,200万円	△ 12.3
特定環境保全公共下水道事業特別会計	5,630万円	5,400万円	4.3
農業集落排水事業特別会計	4,050万円	3,600万円	12.5
簡易水道事業特別会計	9億6,000万円	6億3,300万円	51.7

※公営企業会計の金額は、万円未満を四捨五入しています。



# 主な議決事項

## 平成26年度一般会計補正予算

(第5号)

平成26年度決算状況を見込んだ過不足の調整、ならびに国の補正予算で交付される「地域住民生活等緊急支援のための交付金」対象事業の増額措置

### ◇地方版総合戦略等策定事業【新規】

(1千万円)

まち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本計画となる「地方版総合戦略」と人口の将来展望を示す「地方人口ビジョン」を策定する。

### ◇商工会商品券補助事業

(1億3千万円)

- ・商工会が実施する「きのかわプレミアム商品券」の発行を支援。合併10周年を記念しプレミアム率、発行額を大幅に引き上げる。
- ・プレミアム率 通常1割→今回3割
- ・発行総額 通常1億円→今回3.9億円

### ◇保育所保育環境充実事業【新規】

(3千851万6千円)

保育環境の充実をはかるため、保育所(園)の遊具、絵本および防災用品等を整備。

### ◇観光プロモーション強化事業【新規】

(1千368万5千円)

「フルーツのまち紀の川市」を定着させるため、ふるふる娘やキャンペーンスタッフ等が主となり、大都市圏においての定期的な観光PRや、観光協会ホームページやフェイスブックを利活用した取り組みにより、プロモーション力を強化。



ふるふる娘

◇小学校防災用品配備事業【新規】  
(858万6千円)

すべての市立小学校に防災用品として、災害発生時の身体保護や定期的な防災訓練に活用するため、児童と教職員に防災用ヘルメットを配備。

◇婚活支援事業  
(142万1千円)

総合的な結婚支援体制を整えるため、現在実施している婚活イベントに追加し、新たに結婚相談を受け付けるサポート窓  
□の開設と結婚を希望する人を対象としたセミナーを開催。



◇防災用品備蓄事業【新規】  
(179万2千円)

災害時に備え、新たに乳幼児を対象とした災害用備蓄品を整備。

その他の主な補正予算

○鳥獣対策事業 (195万円)

当初見込んでいたイノシシ捕獲頭数に比べ、実績見込みによる捕獲頭数が大幅に増加するため、有害鳥獣捕獲補助金の増額措置を行う。

○水防事業 (325万1千円)

昨年の台風11号の影響により、樋門等操作業務委託および水門管理委託の回数が当初見込みを上回ったため、委託料の増額措置を行う。

主な条例改正

・紀の川市中心身障害児在宅扶養手当支給  
条例の一部改正について

市独自事業の支給対象者に難病患者等を加え難病患者等への支援をはかる。また、国の施策である特別児童扶養手当については制度を見直し、対象外であった施設入所者も受給対象とする。

・紀の川市介護保険条例の一部改正について

介護保険事業計画の見直しを行い、介護予防を推進する地域支援事業の充実をはかる。  
また、市独自の介護保険料率を導入し、大幅に増加する保険料の抑制につとめる。

ポイント

福祉関連の条例の改正については、経済的に住民生活を圧迫するとの意見もありましたが、今後の高齢化社会を考慮し、限られた財源を効果的に活用するためにはやむなしとの賛成多数で可決。

新副議長に

**杉原 勲** 氏 (刷新クラブ)

今までの議員活動の経験を生かし、議長の補佐役として誠心誠意努めてまいります。



◎財産の取得の一部変更について (1千126万6千円増額)

この件については、  
以下の附帯決議を付けて



新体育館のアリーナ

平成26年第4回定例会において可決した「財産の取得について(市民体育館スポーツ備品(大型備品)一式)」について、備品を追加購入するにあたり、取得金額の変更の議決を得たものであるが、当初計画の段階で適切な事務処理であったのか疑義が生じるため、今後は事務の改善および法規等の整備に早急に取り組みられ、十分な精査を行うことを強く求めるものである。

その他の議決事項

- ・人権擁護委員候補者の推薦 (3件)
- ・工事委託協定の締結 (1件)
- ・平成26年度各特別会計補正予算 (8件)
- ・平成27年度各財産区特別会計予算 (11件)
- ・平成27年度公営企業会計予算 (2件)
- ・那賀5町新市建設計画の変更
- ・権利の放棄 (3件)
- ・和解及び損害賠償の額の決定 (1件)
- ・那賀老人福祉施設組合規約の変更に関する協議 (1件)
- ・工事請負契約の一部変更 (1件)
- ・委員会提出議案 (2件)

第32号(2ページ中段)の訂正とおわび  
平成26年第4回定例会一般会計補正予算の金額に誤りがありました。  
訂正しておわびします。

- 【誤】地域安全推進事業 (9千400万円)
- 【正】地域安全推進事業 (944万円)

# いっぱん質問

## 市政を問う

並松 八重 議員

- ・本市の環境保全、美化運動の取り組みについて
- ・自動体外式除細動器(AED)の普及状況

榎本 喜之 議員

- ・有害鳥獣対策について
- ・打田スポーツ公園に建設されるプールについて

川原 一泰 議員

- ・人口減少を止める必要性

中村 真紀 議員

- ・屋内公園の充実について
- ・和歌山広域消防指令センターについて

石井 仁 議員

- ・広域化に伴う本市のごみ行政について

太田加寿也 議員

- ・新市立図書館と地域・市民との連携について
- ・若者対策と高齢者対策のバランスをどうとっていくのか

杉原 勲 議員

- ・これからの地域公共交通について

船木 孝明 議員

- ・子ども子育て支援について
- ・地方創生への取り組みについて

石脇 順治 議員

- ・紀の川市における今後の道路整備計画について

中尾太久也 議員

- ・農業振興に対する基盤整備および環境保全の取り組みについて

西川 泰弘 議員

- ・国の地方創生への市の自主的な独自の対応について
- ・住民と市行政の協働について

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 0736-77-0860)



並松 八重 議員

## きれいなまちで国体を

**問**

9月にわかやま国体が開催されるにあたり、市として山林・道路・農地・河川等にポイ捨てされているごみの処理と防止対策は。

**答**

市民部長

不法投棄が多い地域には、啓発看板、のぼり、固定式監視カメラを設置し、市職員・委託業者等で市内全域を対象にパトロールを実施している。処理は原則として、道路・土地等は管理者が行うことになっているが、可能な範囲で市の焼却場で処理をする。処理困難物は業者委託になる。ポイ捨てされているごみ等は、沿道住民の自

発的な美化・清掃活動により環境が保持されている。今後とも、市職員・各種団体の協力を得て、環境保全、美化運動を市民に周知し推進してまいります。

## AEDで助かる命

**問**

AEDの普及状況と救命講習の現状は。

**答**

AEDの普及状況と救命講習の現状は。市の公共施設に99ヶ所、民間の施設に28ヶ所設置されている。

**問**

救命率を上げるために、24時間利用できるコンビニ・文番への設置は。

**答**

那賀消防組合とも連携の上、コンビニ店への理解を求め、また交番等への設置の要望も県担当課に行つて。

**答**

市長

わかやま国体で本市を訪れる方々を、ごみのないきれいなまちでお迎えしPRするため、モラル向上に努める。



AEDで助かる命

## 有害獣の処分を容易に

**問**

捕獲した有害獣の死骸の処理に困っている。大型の動物はそのまま焼却できず、ごみ袋に入る大きさに解体するほかなない。動物専用の焼却炉の設置は。

**答**

市民部長

紀の海クリーンセンターも構造的に大型動物をそのまま焼却することは非常に困難である。また、動物炉の建設、維持管理にも多額の費用が必要となる。処理方法は、今後の課題と考える。

**問**

地を市で準備し、穴を掘るといつ一番大変な作業も重機をリースするなどして軽減できないか。

**答**

農林商工部長

現状では埋却処分以外に有効な手段が見当たらず、体制づくりを早急に進めることが必要だと認識している。昨年6月に設立した鳥獣被害防止対策協議会に協力をお願いし、対策をはかっている。場所が確保されれば、重機賃貸など経費を協議会で負担することも可能になるので検討していく。また、焼却炉建設も支援制度があるので、捕獲頭数を助成し、広域的な取り組みを含め研究課題とする。



榎本 喜之 議員



大型有害動物

## 新しいプールに期待

**問**

打田スポーツ公園に建設予定のプールは、もつとレクリエーションに特化したプールで良かったのでは？

**答**

建設部長 教育部長

プールの概要は、25mの8コース水深1.0～1.2mの大プール、水深70cmの小プール、水深50cmと30cmの幼児用プール2ヶ所と、日陰も多く取れるようひさしを3ヶ所計画している。

小学校体育連盟から、子ども達が一同に集う施設にと強い要望もあり、水泳大会ができる施設としている。大プールには、障害者の方にも利用して頂けるようスロープも計画している。

また、用途別にコースを分けたり、日にちや時間帯で利用を変えるなど、レクリエーション的な部分も多く取り入れながら運営面で多目的に使ってまいります。



川原 一泰 議員

## 人口減少を止める必要性

**問**

人口が減ると、交付税や自主財源の税収にも影響があるが、どのような対策を講じていくのか。

**答**

総務部長

歳出の削減には強力な行財政改革の推進、歳入の増加には深刻化する人口減少への取り組みが有効な施策と考える。人口が増加した場合の財政的な効果は、まず地方交付税については一人当たり10万円の増額となり、市民税については、15歳以上65歳未満の生産年齢人口が増加することで、個人住民税が一人当たり約6万円の増加となる。人口増加と定住化の促進が喫緊の課題である。

**答**

企画部長

本市は県内で最も住みやすい地理的環境を秘めた地域であり、受け入れ態勢を整えば、必ず人口が増加する。

本市の人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンと地方版総合戦略を策定し、人口減少時代に対応する。

**答**

建設部長

都市計画による土地利用の誘導・規制などは、人口増加にもつながると考えている。今後の用途地域指定を見据えた土地利用方針策定事業として平成27年度466万9千円、平成28年度債務負担行為限度額を600万円としている。

**問**

(仮称)

京奈和関空連絡道路の期成同盟会設立に向けた進捗状況は。



京奈和関空連絡道路構想図

**答**

建設部長

(仮称)京奈和関空連絡道路建設促進期成同盟会設立に向けた活動状況については、平成26年中に同意を取り付けるべく加盟要請に奔走し、昨年末には和歌山県側5市5町、また、大阪府側4市3町については泉佐野市の尽力により、2月上旬に全市町で加盟の回答をいただいた。

春以降の期成同盟会設立に向けて調整中である。

**答**

市長

京奈和関空連絡道路の期成同盟会がようやく形になった。皆さん方と一緒に頑張っていきたい。



中村 真紀 議員

## 子ども達の集まる場所を

**問**

天候を気にせず、未就園児から小学生までが利用できる屋内公園の必要性について市の認識は。

**答**

保健福祉部長

天候にかかわらず自然に集まり、土・日・祝も遊べる施設の建設は、財政的なことを踏まえ考えていない。ただ、集える場の提供は、子どもの成長に欠かせないと思うので、既存の施設を必要に応じ充実していきたい。

**問**

使われていない児童館の有効利用や、より身近な場所での子育て支援センターの増設は。

**答**

保健福祉部長

児童館の整備を必要に応じて充実していく。支援センターは、打田地区の利用が多く、充実も必要と思うので、見極めて対応していきたい。

## 広域消防(通信)のメリットは

**問**

和歌山広域消防指令センターの共同運用のメリットは。

**答**

総務部長

4月1日から那賀消防組合と和歌山市、海南市、紀美野町の3消防本部の共同運用が開始される。

財政面では、那賀消防組合で1億円程度の削減が見込まれる。消防

体制の充実強化や受信処理能力の向上等、大きな効果が期待される。救急車などの相互乗り入れについては、大規模災害の発生に備え、和歌山県下消防広域応援協定を締結し、センター長の権限により相互応援が可能となる。



広域化(通信)する消防組合

# ごみ処理広域化と市の責任

**問**

本市と海南市、紀美野町による広域ごみ処理施設が現在建設中で11月に稼働する。

広域化されるも、今後のごみ行政の方向をどう定めるのか。

**答** 市民部長

ごみの中間処理を広域的に行うことにより、ごみ処理施策の円滑な実施と循環型社会を構築する計画を策定している。直営の場合も組合になった場合も、引き続き市に処理責任があると認識している。

**問** 広域化による財政効果の見込みは。

**答** 市長

市として年間1億3千万円程度が削減できると見込んでいる。

**問**

経費削減分をどう市民に還元するの。ごみ袋の金額の引き下げを検討しては。

**答** 市民部長

今後、ごみ袋の作製経費が上がるのが予想され、さらに構成市町間の金額の統一化という観点から、反対に引き上げも検討していかねばならないと考えている。

## ダイオキシンの独自測定を

**問**

施設を置く自治体としての責任と役割をどう考えるか。

農業が基幹産業の地域

**答** 市長

紀の海広域施設組合で責任を持って、二市一町の住民に心配されることのないような運営をしていく必要があると思っています。市独自の対応は考えています。



現在のごみ袋

# 図書館サービス拡充を

**問**

新・市立図書館では、利用者にとってのよきサービスを提供できるか。

**答** 教育部長

新図書館の運営については、より多くの市民に来館いただけるようわかりやすい図書の配置、居心地の良い空間づくりや図書館イベント・講演会など、より良い図書環境づくりを進めるため、部会を設置し検討している。

図書検索についてもインターネットからも検索しやすいよう改善してまいります。

**問**

新図書館と周辺商業施設の連携により、地域

**答** 農林商工部長

図書館は市民への様々な情報発信の拠点施設として最適な位置にあり、図書カードを活用した付加サービスにより、周辺商店街活性化の波及効果が期待できる。そのためにも商

## 若者対策のPRをもっと

**問**

少子化と人口減少に歯止めをかけるため、若者対策・高齢者対策事業のバランスをどうとっていくのか。

**答** 企画部長

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、

今後5年間の本市独自の地方版総合戦略を策定し、人口減少抑制・少子高齢化対策にバランス良く取り組む。

本市には、他市町村に優る若者や子育て世代に対する施策があり、経済的負担の軽減や助成、雇用機会の拡大などを様々なPR方法を駆使して若者への周知を進めていく。



河南図書館工事中！



石井 仁 議員



太田加寿也 議員



杉原 勲 議員

## 交通手段の再検討を

**問**

平成19年4月より試行運転開始、平成21年5月から本運行に移行し現在に至る。地域・時間帯にもよるが、利用者がなく空で走っている路線も見受けられる。

運行路線については、今なおバス路線から外れている空白地域・山間部の交通手段として、また、今後統廃合される図書館・パークゴルフ場などへの交通手段として柔軟な対応と共に巡回バスの乗り入れが必要かと思うが。

**答**

企画部長

地域巡回バスで市内の大部分の地域をカバーしているが、経費を抑えつつ路線の維持・確保・



現在運行中の地域巡回バス

充実をはかることが課題である。

また、地理的状况により既存運行バスの乗り入れが困難な地域には、需要に応じた運行を行う「デマンド交通」や、福祉対策を重点とした福祉タクシー等を導入できるか検討している。

**問**

一日も早い行政サービスの格差是正が必要かと思うが、市長の見解は。

**答**

市長

空白地域の解消については、デマンド交通など関係部署で導入可能な手法を研究し、モデル地域を定めて、試行を行い、検証を進めるように指示しているところである。

※デマンド交通  
決められたルートを定時に走る路線バスと異なり、利用者の予約（需要）に応じてタクシーや小型バスを運行する仕組み。利用者は別の利用者と乗合になる。



松木 孝明 議員

## 安心できる子どもの未来

**問**

子ども達が健全で明るく成長していくため、今後5年間の「子ども子育て支援計画」をどのように策定しているのか。

**答**

保健福祉部長

「子ども子育て支援計画」については、子ども子育て会議にて検討・協議している。

策定過程で、約1千500人を対象にアンケート調査を行い、62人から回答があった。その他の意見欄には、子育て問題に関する意見が173件寄せられた。

**問**

計画策定後、不登校や発達障害など支援の必要

要な子のフォローや、虐待を受けている子の保護などについて取り組むのか。

**答**

保健福祉部長

支援計画に掲げる不登校児・引きこもり児・虐待児・障害児・一人親家庭などの支援については、教育委員会をはじめ、関係部署と連携して取り組む。

虐待児の保護は、児童相談所の権限なので、市独自の一時保護はできないが、必要な場合は、児童相談所に積極的に働きかけていきたい。

**問**

支援計画を実践し、市民が安全安心して住める、また元気で明るい子どもを育成していくため、どう取り組むのか。

**答**

市長

小学生が犠牲となった事件を受け、防犯灯や防犯設備の増設を行い、また、学校・地域・家庭が一体となって心身とも

にたくましい子どもに育てていく環境づくりに取り組む。



地域で子育て支援

## 地方創生に期待

**問**

国の地方創生戦略を受け、どう取り組むのか。

**答**

企画部長

地方創生で、まず合併当時の人口7万人復活を目標に少子高齢化に取り組む。地域の実情に応じた地方版総合戦略を策定し、地域住民とともに地域活性化に向けて幅広く取り組んで行く必要がある。

# 今後の道路整備は！

**問**

まちづくりの基盤は道路と考えるが、今後の道路整備計画は長期的な視野に立ったものでなければならぬ。

現在、市が着手している市道と、県が実施している県道整備の現状およびこれから道路整備は。

**答** 建設部長

現在の主な幹線的な市道整備は、社会資本整備事業関連で2路線、紀の海周辺整備で1路線を実施している。詳細としては、粉河中へのJRR地下連絡道新設工事と、市役所本庁舎前の上野庁舎前線道路改良工事の用地交渉に着手したところである。



石脇 順治 議員

る。

調月三和線は、平成27年度末の完成を目指している。

県道整備の現状は、県道若山上野上線の諸井橋の新設、県道和歌山橋本線遠方地区での新設等を実施しており、県道粉河寺線も立石川から国道24号まで事業化となり、一部用地取得に着手している。

**問**

今後の道路整備計画については、財政厳しいなか、国・県の道路整備や交通形態を見極めながら進めたい。

**答**

建設部長

今後の道路整備計画に、国道44号竹房橋北詰から現在建設中の市民体育館および都市計画公園へのアクセス道路を検討すべきでは。

市民体育館等へのアクセスは、今後の諸事情を注視し、現道の拡幅や新設道等あらゆる可能性

を検討する。

**問**

県道については、近々大阪府下との交通量が増える予想される県道粉河那賀線と中尾名手市場線が交わる西野山交差点の右折だまり等の改良も、県に強く要望すべきでは。

**答**

建設部長

西野山交差点の改良については、沿線には青洲の里もあり、周辺地域の利便性を向上させる上でも、地元地区等の意思を配慮しつつ、県当局へ要望する。



市民体育館への現在の道路

# 農業振興の充実を

**問**

農業従事者の高齢化および担い手不足による耕作放棄地の増加に伴う荒廃した農地や農林道の維持管理の対応は。

**答**

農林商工部長

基幹産業の農業は、急激に耕作放棄地が増加している。それに伴い農業用施設を管理する組合・組織そのものの弱体化が進んでいる。

さらに土地改良事業等を活用した整備改修においても、地元負担金等の問題も加わり、荒廃した箇所が増えているのも事実である。

こうした状況をふまえ、平成27年度の国の制度による「多面的機能支払交付金事業」での支援



中尾太久也 議員

事業を積極的に活用し、地元関係者とともに取り組んでいく。

また、山林および林道・作業道については、財産区予算の中で修繕工事補助金や山林整備補助金として支援しているのを活用していただく。

**問**

ため池の防災対策や環境悪化に伴う水質保全の取り組みは。

**答**

農林商工部長

ため池の管理は、水利組合や地域の利用者等で行うのが原則である

が、十分な管理ができないため池は水質環境の悪化や防災面でも危険な状況である。

管理の難しくなってきたため池を放置するのではなく、地元で管理しやすいよう、受益面積に応じた貯水能力とするなど、

**問**

地域の実情にあった対策を取り入れ改善していく。中山間地域や限界集落と言われる地域への支援は。

**答**

農林商工部長

地域づくりを支援する事業「水土里のむら機能再生支援事業」を活用し、地域の活性化につながる支援をしていく。

**答**

市長

支援できることは積極的に応援し、国・県の事業を最大限活用しながら少しでも集落が元気になるよう市全体でしっかりと取り組む。



整備中のため池

## 地方創生をチャンスに!



西川 泰弘 議員

**問** 中・長期的な地方創生に向けて、市としての取り組みは。

**答** 企画部長  
①大都市圏に出た若者が地元で安心して働く場を確保すること

②若者が家庭を持って子どもを産み、育てる環境の充実とそれに係る経済的負担の軽減  
③時代にあった安心な暮らしを守りつつ、自立できる生活圏の形成等が大きなテーマであり、27年度中に、市民のさまざまな分野の協力を得ながら、地方版総合戦略として市の現状を踏まえ、具体的な市の方針を策定する。

## 「協働」の力の結集!

**問** 今後、市の財政は非常に厳しい状況を迎えると思われ。

**答** 総務部長  
「行政主体」のまちづくりではなく、市民と行政の協力が不可欠なものとなってきている。今後は行政によって担われてきた「公共」の部分市民や、企業・NPOにもある程度担ってもらい、様々な課題(ニーズ)に柔軟に対応できるようにしたい。

**問** 今後、市の財政は非常に厳しい状況を迎えると思われ。

**答** 市長  
合併10年、まだ十分とは言えないが、ある程度均衡のとれた市づくり



現状と未来の資料

はできつつあると思う。さらに、今後の市の発展のために、国での地方創生が叫ばれているのが最後のチャンスだと考え、図書館の運営方法、道の駅等、市民の協力を得ながら、新しい施策もやっていきたい。また、市民との「協働」という面から、埋もれている市内のさまざまな人材を幅広く掘り起こし協力をお願いし、市の発展の力になってもうたい。

## 議会を傍聴してみませんか



市議会の定例会は、3・6・9・12月の年4回開催され、傍聴することができます。

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されていますので、私たち議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひ議会の傍聴にきてください!

### 【傍聴手続き】

本会議の傍聴を希望される方は、当日受付で住所・氏名を記入していただき、入場してください。

本会議の傍聴定員は、30人(うち車いす用2席)です。

### 【受付場所】

電話でのお問い合わせもお受けしています。

●お問い合わせ… 議会事務局

電話番号：0736-77-0860

## 次回 6月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
14	15	16	17	18	19	20
					本会議 (開会)	
21	22	23	24	25	26	27
		本会議 (一般質問)			(質疑 委員会 付託)	
28	29	30	7/1	2	3	4
		総務文教 委員会	厚生 委員会	産業建設 委員会		
5	6	7	8	9	10	11
	(本会議 予備日)				本会議 (閉会)	

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

# 追跡 ちょっとおしえて! あの質問、どうなったの?!

## 学校給食費の滞納をゼロに

学校給食法で、「小中学校での給食費は保護者の負担とする」とされている。給食費の滞納は、負担の公平性を欠くことになり、問題である。未納者への徴収対策は。

平成 22 年 9 月議会 田代 範義 議員

答弁

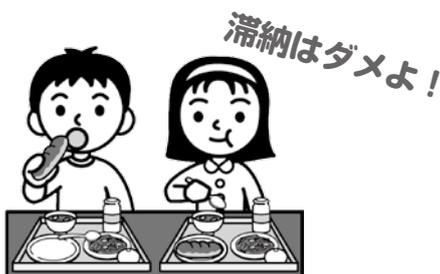
各学校と教育委員会が連携し、督促・戸別徴収を行うとともに、支払い困難な家庭には、就学援助制度の周知も含め、滞納解消に努力する。

その後

## 裁判所を通じて支払督促

学校給食費は、毎月2回の口座振替をし、引き落としできない場合は、現金納付の督促をする。それにも応じない場合は、保護者会等で面談し、納付を促している。

しかしながら、それでも納付しないまま卒業していく場合がある。その対策としては、本来、議会の議決が必要である支払督促を行うための裁判所に対する申立手続きを、今回、市長が速やかに対応できるようにした。



## 早急に<sup>さくろ</sup> 柘榴川改修を

桃山町最上地区における柘榴川の河川改修と近隣する南側斜面の地すべり対策が早急に必要では。

平成 19 年 3 月議会 村垣 正造 議員

答弁

国・県では、平成 18 年から地すべり調査・河川のしゅんせつ調査を実施している。一日も早い改修に努めたい。

その後

## 地すべり対策事業は完了

平成 20 年度から、県が地すべり対策事業に着手し、現在は完了している。

柘榴川の最上大橋下流の国管理区域では、現在、護岸工事を実施しているが、今後も継続して行っていく。また、最上大橋上流の県管理区域では、今後、河川整備計画を立て、整備する方針で、市もその計画協議に参画している。



現在の柘榴川

# んばってます!!

## Part5

今回は、私が参加してるよ!



### 若者が農業で地域活性化!

# 「僕が見本になれば!」

### 桃農家でジェラート作りにも力を入れる

代表 藪本畑也さんに話を聞く

## 藪本畑下農園 < 藤桃庵 > 桃農家のジェラテリア

### 農業で地域発展を!

— 脱サラして起業したきっかけは

農業だけでは生活が厳しかったので、最初はサラリーマンをしながら、土日に農業をやっていました。

ジェラートは、もともと外注で作ってもらっていましたが、その店主が高齢で引退することがきっかけで、自分でやってみようと思いました。

### 8割がインターネット販売! 妻に感謝!

— 起業しての苦労話などがあれば

最初はなかなか売れませんでした。妻がジェラートやジャムなどの加工品のアイデアを出して、インターネット



オーナーの藪本さん(右)、奥さん(左)

桃農家のジェラテリア

toutouan

藤桃庵

TEL 0736-66-8475



取材を受けるオーナーの藪本さん(右)  
記事は森田委員(左)と大谷委員(中)が担当

# 特集

# 紀の川市でが

を使つての販売を協力してくれたので今があります。

## 和歌山はフルーツ王国！

——藤桃庵としてのこだわりなどはありますか

紀の川市を中心に和歌山のフルーツジェラートがこだわります。

## 自然の桃の味を！

——押しジェラートはどれですか

「桃ソルベ」です。ミルクを混ぜずに桃だけを使ったシャーベットです。

——そのジェラートの特徴は

減農薬・無肥料栽培で桃を作っているので、桃そのままの味を楽しんでほしいです。

## 若者が農業をできるように！

——今後の夢など目指すところがあれば

これで満足するのではなく、日々勉強・研究だと思つていて、イタリアなどへも研修に行ったりしています。若い子が、農業をやりたいける見本になりたいです。





入園式 (長田保育園)



卒園式 (れもん保育園)



入学式 (東貴志小学校)



KINOKAWA CITY  
みんな笑顔で10周年



ピンクリボンサイクリング



名手川の鯉のぼり



### 編集後記

今年は、合併10周年にあたり、それを記念しての式典や記念事業も計画されています。

振り返りますと、10年前、旧5町がゆずり合いの精神をもって、紀の川市が誕生し、いろいろな苦難・障害を乗り越え、新しい歴史を刻んできました。

この10年、早くもあり、遅くもあり、市全体がよく頑張ってきたなと感じております。

また、今年は紀の国わかやま国体と紀の国わかやま大会が開催され、我が市においては、ハンドボール・サッカー等の競技会場となっております。

競技期間中は、県内外からたくさんの方が紀の川市へ来られると思いますが、市一丸となって、心のこもった「おもてなし」をして、この大会が成功裡に終われるように思っています。

(J・ー)